

投稿論文募集

(2020年2月21日版)

法政大学イノベーション・マネジメント研究センターでは、学術雑誌『イノベーション・マネジメント』の論文・研究ノートを広く学内外から募集しております。2020年度の募集要項・投稿要領は以下の通りです。

募集要項

1 掲載誌

- 学術雑誌『イノベーション・マネジメント』No.18 (2021年3月末発行予定) 定価 2,500円

2 テーマ

- 経営行動のイノベーションに関する理論、歴史、政策の分析。
- 地域、産業、企業、組織に関する理論と実証分析。
- 企業家、ベンチャー・ファイナンス、インキュベーションに関する研究。
- その他、イノベーションに関する経営学的研究。

3 原稿分量

- 提出原稿は日本語あるいは英語とし、A4判ワード40字×40行15枚(日本語24,000字、英語8,000ワード相当)を上限とします(要約とキーワードは除く)。詳しくは、投稿要領(次頁)をご参照ください。

4 提出期限

- 2020年5月9日(土)当日消印有効。

5 その他

- 原則として、提出原稿は全て2名以上のレフェリーによる査読を経ます。
- 掲載された方には、本誌10部および抜き刷り50部を差し上げます。
- 投稿予定の方は、2020年4月16日(木)までに、当研究センターまでE-mailにてご連絡ください。

【出版者】 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

【編集委員会】 委員長：金 容度 副委員長：川島健司

編集委員：宇田川勝 小川憲彦 近能善範 佐野嘉秀 田路則子
田中 洋 永山 晋 福田淳児 矢作敏行 横山斉理

<問合せ及び原稿送付先> 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
『イノベーション・マネジメント』編集委員会
TEL: 03(3264)9421 FAX: 03(3264)4690 E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター



〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
TEL: 03(3264)9421 FAX: 03(3264)4690
URL: <http://riim.ws.hosei.ac.jp>
E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp

※募集要項・投稿要領は、当研究センターのホームページからもダウンロードすることができます。

投稿要領

【投稿規定】

- 1 原稿はワードによる電子媒体 (CD-R、ないしは USB メモリ) 1 部と紙媒体 1 部を提出していただきます。所定の「投稿申込書」を添付してください。提出された原稿等は返却いたしませんので、コピーを保存しておいてください。
- 2 原稿は未発表のものに限ります。また、他誌へ投稿中あるいは投稿する予定のある論文等については、本誌への多重投稿を認めておりません。ただし、ワーキングペーパーは除きます。
- 3 原稿は文法的に正しい日本語あるいは英語で書かれているものとします。この条件を満たさない場合は審査の対象外とします。
- 4 原稿は、A4 判ワード 40 字×40 行 15 枚 (日本語 24,000 字、英語 8,000 ワード相当) を上限とします (要約とキーワードは除く)。
- 5 研究歴など簡単な履歴を添付してください。共著の場合は執筆者全員分を添付してください。
- 6 日本語の原稿にも英文タイトルをつけてください。
- 7 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
- 8 掲載された論文・研究ノートの著作権は著者に帰属します。ただし、出版者からの掲載前指定期日までに、別途定める「著作物利用許諾契約書」の締結が必要です。同契約により、発行後、出版者が全文を電子化し、J-STAGE 等インターネットで公開します。前述の期日までに同契約を締結しない場合、掲載取り下げとみなします。

【執筆要領】

1 一般的な原則

- (1) 横書きとする。原稿は 40 字×40 行のレイアウトとする。本文には日本語は 10.5 ポイント、英語は 11 ポイント、脚注は文末 (参考文献の前) に記載し、9 ポイントを用いる。フォントは、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman を用いる。
- (2) タイトル、氏名の次に、要約 (日本語 600 字以内、英語 200 ワード) と 5 つのキーワード (日本語と英語) をつける。英語での投稿の場合も日本語の要約とキーワードが必要。
- (3) 原稿の最後に、文字数あるいはワード数、執筆者名 (日本語の場合はふりがなも必要)、肩書き (所属、職名) を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。共著の場合、著者名の表記順を明示する。
- (4) 図表等は出所を明記し、ワード・ファイルにレイアウトして本文中に挿入する。イメージデータを図表にレイアウトした場合は、図表の元データ (エクセル、ワード等) を併せて提出する。
- (5) 図表は、図と表を分けて表記し、それぞれ通し番号を付ける (表 1、表 2・・・、図 1、図 2・・・)。
- (6) 表のタイトルは表の上に記載し、図のタイトルは図の下に記載する。
- (7) 文中で著者名を () を用いず引用する場合は「著者名 (刊行年)」と表記し、著者が 2 名の場合は、和文は「・」(ナカグロ)、英文は「and」でつなぐ。文中で著者名を () を用いて引用する場合は「(著者名, 刊行年)」と表記し、著者が 2 名の場合は、和文は「・」(ナカグロ)、英文は「&」でつなぐ。なお、著者が 3 名以上の場合、和文は「第一著者名+他」、英文は「第一著者名+et al.」で省略する。ただし、第一著者・刊行年が同じで複数の著者の内訳が異なる場合、区別ができる箇所まで著者名を列挙したのちに省略する。

<例> 共感について検討した竹内 (2015) では、食品分野の 2 つの競合ブランドを対象とし、FB ページ閲覧による共感の発生について実証分析を行うとともに、企業イメージの向上を比較した。

<例> 具体的な実証研究の事例としては、前述の Lin and Lu (2011) と Kuo and Feng (2013) が挙げられる。

<例> 行為や活動の方向性を継続することへの意思であり、リレーションシップを維持したいという願望でもある (Hocutt, 1998)。

<例> ブランド・コミュニティとは「ブランドのユーザー間で構造化された社会的関係に基づく、地理的に特化していない特殊なコミュニティ」と定義されている (Muniz & O'Guinn, 2001)。

<例> Algesheimer et al. (2005) は、コミュニティメンバーは他のメンバーと交流し、協力するといった本質的な動機づけを持っていると指摘している。

2 参考文献の方式

《日本語の図書・論文の場合》

- A 日本語で書かれた図書については、①著者名、②発行年 (西暦を()で囲む。同一年の場合には、1999a, 1999b 等とする)、③書名 (書名は『 』で囲む)、④出版者名の順に書く。
- B 著者が 2 人以上の場合にも、全員の姓名を書く。複数の著者名を表記する場合には、著者名と著者名の間に「・」をつける。
- C 論文については、①執筆者名、②発行年 (西暦を()で囲む。同一年の場合には、1999a, 1999b 等とする)、③論文名 (「 」で囲む)、④掲載雑誌名 (『 』で囲む)、⑤巻号、⑥ページ (pp.15-36 等と記す) の順に書く。同一著者による論文が雑誌の複数号に連載されている場合であっても、掲載論文ごとに別々に表記する。
- D 参考文献の最後は、かならず「。」で止める。

《欧文の図書・論文の場合》

- A 書式は、*Academy of Management Journal* の 2006 年発行のものに準拠する。また、(注) のファーストネームとミドルネームはイニシャルのみとする。

(図書の場合)

- ①著者名 (Family name, (注) First name. (注) Middle name., & Family name, (注) First name. (注) Middle name.) ②発行年. ③図書タイトル: サブタイトル (タイトルおよびサブタイトルの最初のみ大文字、イタリック、太字). ④出版地: ⑤出版者.

(論文の場合)

- ①著者名 (Family name, (注) First name. (注) Middle name., & Family name, (注) First name. (注) Middle name.) ②発行年. ③論文タイトル: サブタイトル (タイトルおよびサブタイトルの最初のみ大文字). ④雑誌名 (イタリック、太字), ⑤巻 (号): ⑥ページ (例 1-9).

- B 翻訳書については、該当する原文の図書・論文表記の末尾に () で囲み表記する。

- C 参考文献の最後は、かならず「。」で止める。